

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公表番号】特表2017-536460(P2017-536460A)

【公表日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2017-529000(P2017-529000)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 K 7/04 (2006.01)

C 08 K 5/103 (2006.01)

C 08 K 5/41 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 K 7/04

C 08 K 5/103

C 08 K 5/41

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年9月14日(2020.9.14)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 20重量%~99.0重量%の芳香族ポリカーボネート、

B) 0.0~1.0重量%の、脂肪族スルホン酸、芳香族スルホン酸、およびスルホンアミドのアルカリ金属塩およびアルカリ土類金属塩；ならびに、メチルホスホン酸ナトリウム、メチルホスホン酸カリウム、(2-フェニルエチレン)ホスホン酸ナトリウム、(2-フェニルエチレン)ホスホン酸カリウム、ペンタクロロ安息香酸ナトリウム、ペンタクロロ安息香酸カリウム、2,4,6-トリクロロ安息香酸ナトリウム、2,4,6-トリクロロ安息香酸カリウム、2,4-ジクロロ安息香酸ナトリウム、2,4-ジクロロ安息香酸カリウム、フェニルホスホン酸リチウム、ヘキサフルオロアルミニン酸三ナトリウム、ヘキサフルオロアルミニン酸三カリウム、ヘキサフルオロチタン酸二ナトリウム、ヘキサフルオロチタン酸二カリウム、ヘキサフルオロケイ酸二ナトリウム、ヘキサフルオロケイ酸二カリウム、ヘキサフルオロジルコン酸二ナトリウム、ヘキサフルオロジルコン酸二カリウム、ピロリン酸ナトリウム、ピロリン酸カリウム、メタリン酸ナトリウム、メタリン酸カリウム、テトラフルオロホウ酸ナトリウム、テトラフルオロホウ酸カリウム、ヘキサフルオロリン酸ナトリウム、ヘキサフルオロリン酸カリウム、リン酸ナトリウム、リン酸カリウム、リン酸リチウム、およびそれらの混合物からなる群から選択される、少なくとも1種の難燃剤、

C) 0.5重量%~50.0重量%の、少なくとも1種のガラス纖維、1種の炭素纖維およびカーボン・ナノチューブからなる群から選択される少なくとも1つの成分、

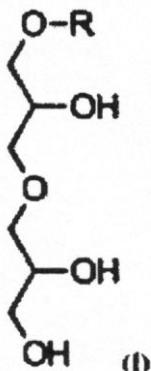
D) 0.01重量%~3.0重量%の、ジグリセロールエステルの群から選択される、少なくとも1種の流動助剤、

E) 0.0重量%~5.0重量%の少なくとも1種の抗滴下剤、

F) 0.0重量%~1.0重量%の少なくとも1種の熱安定剤、

G) 0.0重量%～10.0重量%の、酸化防止剤、紫外線吸収剤、IR吸収剤、静電気防止剤、蛍光増白剤、光散乱剤、着色料、無機充填剤、およびエチレン-アクリル酸メチルコポリマーからなる群から選択される、さらなる添加剤を含んでなる組成物であって、

ジグリセロールエステルとして、式(I)のエステル：
【化1】



[式中、

R = COC_nH_{2n+1} および / または R = COR' であり、

ここで、nは整数であり、かつR'は、分岐鎖状アルキル部分または分岐鎖状もしくは非分岐鎖状アルケニル部分であり、かつC_nH_{2n+1}は、脂肪族、飽和直鎖状アルキル部分である。]

が含まれる、組成物。

【請求項2】

前記成分A)～G)の合計が100重量%となる、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

R = COC_nH_{2n+1}において、nが6～24、好ましくは8～18、より好ましくは10～16および一層より好ましくは12の整数である、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

少なくとも0.05重量%の抗滴下剤が存在している、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

ガラス纖維および0.001～1.0重量%の難燃剤を含んでなる、請求項1～4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

ガラス纖維が存在していて、かつ該ガラス纖維が3mm～6mmの配合前の長さを有する、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

ガラス纖維が存在していて、かつ該ガラス纖維が細断ガラス纖維である、請求項1～6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

ガラス纖維が存在していて、かつ該ガラス纖維が5～25μm、好ましくは8～20μmおよびより好ましくは11～17μmの平均纖維直径を有する、請求項1～7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

前記組成物が、ISO 11133(試験温度300、質量1.2kg)により測定される7～25cm³/10分のメルトボリュームフローレートMVRを有し、かつISO 527により測定される弾性係数が少なくとも2700N/mm²である、請求項1～8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

前記組成物が、炭素繊維を含んでなる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 1】

1. 5 mm 壁厚で U L 9 4 V - 0 可燃性等級を有する、電気 / 電子部門または I T 部門用の厚さ 0.1 ~ 3 mm の薄肉成形品の製造における、請求項 1 ~ 1 0 に記載の組成物の使用。

【請求項 1 2】

成形品、特にウルトラブック用の構成部品用成形品、の製造における、I S O 1 1 3 3 (試験温度 3 0 0 、質量 1.2 kg) により測定される 1 ~ 3 0 cm³ / 1 0 分のマルトボリュームフローレート M V R および室温で I S O 1 7 9 / 1 e U により測定される 3 5 k J / m² を超えるシャルピー衝撃強さを有する請求項 1 ~ 1 0 に記載の組成物の使用。

【請求項 1 3】

A) 2 0 重量 % ~ 9 9 . 0 重量 % の芳香族ポリカーボネート、

B) 0.0 ~ 1.0 重量 % の、脂肪族スルホン酸、芳香族スルホン酸、およびスルホンアミドのアルカリ金属塩およびアルカリ土類金属塩；ならびに、メチルホスホン酸ナトリウム、メチルホスホン酸カリウム、(2-フェニルエチレン)ホスホン酸ナトリウム、(2-フェニルエチレン)ホスホン酸カリウム、ペンタクロロ安息香酸ナトリウム、ペンタクロロ安息香酸カリウム、2,4,6-トリクロロ安息香酸ナトリウム、2,4,6-トリクロロ安息香酸カリウム、2,4-ジクロロ安息香酸ナトリウム、2,4-ジクロロ安息香酸カリウム、フェニルホスホン酸リチウム、ヘキサフルオロアルミニン酸三ナトリウム、ヘキサフルオロアルミニン酸三カリウム、ヘキサフルオロチタン酸二ナトリウム、ヘキサフルオロチタン酸二カリウム、ヘキサフルオロケイ酸二ナトリウム、ヘキサフルオロケイ酸二カリウム、ヘキサフルオロジルコン酸二ナトリウム、ヘキサフルオロジルコン酸二カリウム、ピロリン酸ナトリウム、ピロリン酸カリウム、メタリン酸ナトリウム、メタリン酸カリウム、テトラフルオロホウ酸ナトリウム、テトラフルオロホウ酸カリウム、ヘキサフルオロリン酸ナトリウム、ヘキサフルオロリン酸カリウム、リン酸ナトリウム、リン酸カリウム、リン酸リチウム、およびそれらの混合物からなる群から選択される、少なくとも 1 種の難燃剤、

C) 0.5 重量 % ~ 5 0 . 0 重量 % の、少なくとも 1 種のガラス繊維、1 種の炭素繊維およびカーボン・ナノチューブからなる群から選択される少なくとも 1 つの成分、

D) 0.0 1 重量 % ~ 3 . 0 重量 % の、ジグリセロールエステルの群から選択される、少なくとも 1 種の流動助剤、

E) 0.0 重量 % ~ 5 . 0 重量 % の少なくとも 1 種の抗滴下剤、

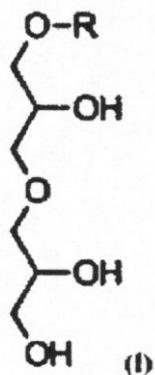
F) 0.0 重量 % ~ 1 . 0 重量 % の少なくとも 1 種の熱安定剤、

G) 0.0 重量 % ~ 1 0 . 0 重量 % の、酸化防止剤、紫外線吸収剤、IR吸収剤、静電気防止剤、蛍光増白剤、光散乱剤、着色料、無機充填剤、およびエチレン - アクリル酸メチルコポリマーからなる群から選択される、さらなる添加剤

を含んでなる組成物のマルトにおいて流動性を改善するための少なくとも一つのジグリセロールエステルの使用であって、

ジグリセロールエステルとして、式 (I) のエステル：

【化2】



[式中、

 $R = COC_nH_{2n+1}$ および / または $R = COR'$ であり、ここで、n は整数であり、かつ R' は、分岐鎖状アルキル部分または分岐鎖状もしくは非分岐鎖状アルケニル部分であり、かつ C_nH_{2n+1} は、脂肪族、飽和直鎖状アルキル部分である。]が含まれる、使用。